

令和5年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された「農山漁村振興交付金(農泊推進対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金(農泊推進対策)実施要領」(令和4年4月1日付け3農振第2980号農林水産省農村振興局長通知)第14の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和4年度に交付金事業を実施した関東農政局管内の30の事業実施主体について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる事業実施主体が14、良好と認められる事業実施主体が2、総合的に低調と認められる事業実施主体が9、評価対象外の事業実施主体が5との評価結果となった。
総合的に低調と認められる事業実施主体に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

3. 各事業実施主体の評価結果

27事業実施主体(※農泊地域高度化促進事業を除く。)

農政局等	都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
関東	茨城県	かすみがうら市	株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー		●	●	● ■					A	(ソフト事業)実施体制は計画どおり整備されており、取組状況及び事業実績もA評価であったので、A評価とした。なお、地域内における各事業者との連携や、地域外への情報発信を行っており、売上高も延べ宿泊者数も順調に伸びていることから、自走していくための土台は整ったものと考えられる。
関東	埼玉県	秩父市	株式会社秩父まちづくり		★ ▼	★ ▲	◆					C	(ハード事業)計画に位置付けられた取組状況及び事業実績について、いずれも50%未満であり、C評価とした。令和3年に、ホテルをオープンする予定だったが、新型コロナウイルスの影響により、着工準備、工期合わせて不測の遅れが生じたため目標達成状況は芳しくないため、プロモーション等の販促企画を再検討している。令和4年8月に築100年程度の歴史を持つ古民家の風合を残しつつ、秩父の歴史が体感できる仕様したレストランでは地元農家から仕入れた新鮮な農産物を用いた質の高い料理を提供する宿泊施設をオープンすることができた。

関東	千葉県	君津市	有限会社ミラーユ(カズサの郷農泊推進協議会のハード)		★	◆					A	(ハード事業)計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも90%以上であり、計画に基づく取組が実施され、実施体制も計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はA評価とした。新型コロナウイルスの感染対策を実施しながら、SNS情報発信を計画通り達成し、結果として国内外の宿泊者数の目標達成に至ったことは、高く評価できる。今後も継続的に農泊事業の運営を実現し、積極的に地域内外への情報発信をしていくことが期待される。
関東	千葉県	富津市	株式会社丘の鐘撞社(金谷地域農泊推進協議会のハード)			★	◆				B	(ハード事業)計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも50%以上90%未満であり、計画に基づく取組がおおむね実施され、実施体制は計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はB評価とした。令和3年度事業で整備した農泊施設を中心に、持続的に商品や体験コンテンツの開発をおこなっていることは評価できる。当該年度においては、新型コロナウイルスの影響下で目標達成には至らなかったが、今後も継続的に農泊事業の運営を実現し、更なる売上の向上に向けた取り組みをすることが期待される。
関東	千葉県	東庄町	東庄未来協議会		●	●▼	○ ■ △				評価 対象 外	(ソフト事業)事業実績及び取組状況が評価対象外であるため、評価対象外とした。(変更申請により、事業実施せず)
関東	千葉県	鋸南町	株式会社紀伊乃国屋(鋸南町農泊推進協議会のハード)		★	★	◆				A	(ハード事業)計画に基づく取組がおおむね実施されており、事業実績はA評価であり、実施体制は計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はA評価とした。特産物を活かした経済活性化と感染対策と新型コロナウイルスの感染対策を両立し、5つの宿泊施設の稼働率が90%を超えたことは高く評価できる。今後も継続的な農泊事業の運営を実現が期待される。
関東	山梨県	丹波山村	三共建設(株)(いきつけの田舎・丹波山村農泊推進協議会のハード)		★		◆				A	(ハード事業)計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも90%以上であり、計画に基づく取組が実施され、実施体制も計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はA評価とした。令和2年度事業で整備した農泊拠点施設(農家民宿、カフェ、コミュニティスペース、イベントスペース、オフィス、体験施設)を中心とし、継続的にメニュー開発を実施したり、地域内及び隣接地域と連携しながら、文化交流等のイベントを実施していることは、高く評価できる。今後も継続的に農泊事業の運営を実現し、積極的に地域内外への情報発信をしていくことが期待される。

関東	茨城県	古河市	一般社団法人茨城県古民家再生協会			★	★	◇								評価対象外	(ハード事業)計画に位置付けられた事業実績が評価対象外であるため、総合的評価は評価対象外とする。
関東	茨城県	神栖市	神栖農泊協議会			●	● ■									A	(ソフト事業)計画に位置付けられた取組状況、事業実績、実施体制、すべてがA評価であるため、総合的な評価をA評価とした。計画に基づく本事業を活用し、集客(広告宣伝)、人材育成、体験メニューなどのソフト面での整備を図り、本事業の成果を活用することにより宿泊施設やキッチンカーについても実現したため、当初目標とする自立化に向けた基礎固めは達成したと評価する。
関東	茨城県	大子町	大子町森林セラピー協議会			●	● ■									C	(ソフト事業)計画に位置付けられた取組状況及び事業実績について、いずれも50%未満であり、C評価とした。体験メニューについて検討は進められているものの、協議会において、事務や集客・誘客を行う人材が不足しており、協議会の中核となる事務局の体制が未成熟であることが主な要因と思われる。今後は、検討された取組みが実際の販売活動につながるよう、人材の雇用やスキルアップによる体制強化が求められる。
関東	栃木県	鹿沼市	かぬまいい旅推進協議会			●	● ■									A	(ソフト事業)計画に位置付けられた目標の達成率は、OTAオンライン販売対応宿泊施設数を除きいずれも100%以上であり、実施体制も計画どおりに整備されていることから総合的な評価はA評価とした。本取組により、鹿沼市の山間地域である西大芦・粟野・板荷・東大芦の4地区が連携し、観光協会、地域住民(農家)・神社・地域出身の専門家・行政の連携強化、地域資源を活用したコンテンツ開発やモニターツアーの実施をすることで、当該地域である山間部のみならず、市街地との連携を実施することで新たな魅力づくりが実現できた。円滑な協議会運営を行うことを念頭に、引き続きSNS等で情報発信を行っていくことで、認知度の向上や長期滞在宿泊者の増加が期待される。
関東	群馬県	藤岡市	藤岡さくらやま農泊推進協議会			●	● ■									C	(ソフト事業)計画に位置付けられた目標について、事業実績において、実施率が50%未満であることから、総合的な評価はC評価とした。宿泊付きの商品を旅館とともに、トレイル農泊を販売したが、宿泊を伴わない日帰りの利用者が多く宿泊者を伸ばせなかった。一方、地域物産は日帰り客の利用もあり、好調に販売実績を伸ばすことができた。

関東	群馬県	長野原町	北軽井沢町を農と食で元気にする会			●	● ■									C	(ソフト事業)計画に位置付けられた目標について、取組状況、事業実績において、実施率が50%未満であることから、総合的な評価はC評価とした。 協議会内の農泊の捉え方に差があり、一貫性の集客ではなくより深くこの地域を知ってほしいという思いが熱かったため、少人数でも受け入れ農家や宿泊施設、体験プログラムを稼働させたため、売上高、宿泊者数についても目標達成ができなかった。
関東	千葉県	市原市	市原みつばち牧場農泊推進協議会			●	● ■									A	(ソフト事業)計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも90%以上であり、計画に基づく取組が実施され、実施体制も計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はA評価とした。「市原みつばち牧場」のコンセプトの確立と、それに基づく新商品や体験プログラムの開発をしていることは、高く評価できる。今後は更に、HP・SNS等を活用したプロモーションを実施することで、継続的な農泊事業の運営を実現することが期待される。
関東	千葉県	多古町	島地区農泊推進協議会			● ▼	● ■ △									A	(ソフト事業)計画に位置付けられた事業実績について、宿泊数については90%未満であったが、地域の売上高、実施体制、事業実績でA評価であったため、総合的な評価はA評価とした。
関東	神奈川県	三浦市	三浦市地場産品消費拡大協議会			●	● ■									C	(ソフト事業)計画に位置付けられた目標について、取組状況、事業実績において、実施率が50%未満であることから、総合的な評価はC評価とした。 取組状況において、体験プログラム数、物販販売者数が100%を超える実施率である一方、飲食来店者数、土産物購入者数が低調であった。令和4年度は協議会構成員どうしの連携強化及び誘客施策を通じて地場産品の消費を拡大するべく、市内の観光コンテンツの洗い出し、磨き上げを行い、来訪者のための旅行商品造成のための体制づくりに注力したが、実績については達成できなかった。
関東	山梨県	北杜市	白州地域農泊推進協議会			●	● ■									A	(ソフト事業)計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも90%以上であり、計画に基づく取組が実施され、実施体制も計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はA評価とした。「白州よもぎ」のブランディング化に取組み、また地域の特産物等を活かし、ワーケーション(法人向け)プラン、個人向けプランの両軸でプログラム開発を実施していることは、高く評価できる。今後は、継続的な体験プログラム開発等により、リピート客の増加や農泊のビジネス化が期待される。

関東	山梨県	山中湖村	富士のふもと山中湖村農泊推進協議会			●	● ■						C	(ソフト事業)計画に位置付けられた目標について、取組状況は90%以上であり、実施体制も計画どおりに整備されているが、事業実績のうち売上が評価であるため、総合的な評価はC評価とした。山中湖観光協会が中核法人として組織を取りまとめており、地域の観光事業者、行政、農業者等と連携しながら、着実に商品開発等の取組みを実施していることは、高く評価できる。当年度の特に前半においては、新型コロナウイルスの影響を引き続き受ける結果となり、当初計画の売上高達成には至らなかったが、今後は交付金事業における取組みを活かし、引き続き地域の事業者等を巻き込みながら取組みを進めていくことにより、実績に繋げることが求められる。
関東	山梨県	富士河口湖町	河口湖農泊推進協議会			● ▼	● ■ △						C	(ソフト事業)計画に位置付けられた目標について、事業実績において、実施率が50%未満であることから、総合的な評価はC評価とした。コロナウィルスの影響により、予定していたワインテイスティングや農業体験宿泊体験セットプランを販売できず、目標達成ができなかった。また、ケーキ開発及び体験メニューについては新たに開発することができたが、宿泊数にはつながらなかった。
関東	静岡県	浜松市	浜松・三ヶ日みかんの里協議会			●	● ■						A	(ソフト事業)計画に位置付けられた事業実績の目標の達成率はいずれも50%以上90%未満であるが、計画に基づく取組が実施され、実施体制も計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はA評価とした。誘客体制の整備等を通し、着実に地域の合意形成を進めながら取組みを実施していることは、高く評価できる。今後は、引き続き地域との連携を進めながら、実際の販売活動に向け、人材育成及び農泊のビジネス化が期待される。
関東	静岡県	松崎町	松崎町・害獣×外住協議会			●	● ■						B	(ソフト事業)計画に位置付けられた目標の達成率は、取組状況、事業実績において50%以上90%未満であるが、実施体制も計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はB評価とした。
関東	栃木県	大田原市	大田原グリーン・ツーリズム推進協議会 連携委員会				★			◇			A	(ハード事業)計画に位置付けられた取組状況について、個人旅行受入については計画検討を主としていたが、実施体制、事業実績でA評価であったため、総合的な評価はA評価とした。今後は、個人旅行の受け入れを地域に展開し、積極的に実施されることが期待される。

関東	山梨県	北杜市	こぶちさわ 新・暮らしの拠点協議会				●	○ □		A	(ソフト事業)計画に定められた目標の達成率は、体験プログラムを除きいずれも90%以上であり、かつ体験プログラムについても12回のうち10回実施していることから、総合的な評価はA評価とした。農泊についての地域の合意形成では、体験企画ごとに声掛けを行い、協力体制を作り、準備段階からのプロセスの中でコミュニケーションを図ることで合意形成を実施したことについては、評価できる。
関東	山梨県	中央市	とよとみ農泊推進協議会				●	○ □		評価対象外	(ソフト事業)取組状況及び事業実績が評価対象外であるため、評価対象外とした。(重大変更申請による交付取消しのため、事業実施せず)令和5年度は研修生の雇用が開始となる予定であるので、実施体制を構築し、取組みを進めていく見込みである。
関東	長野県	東御市	海野宿農泊推進協議会				●	○ □		評価対象外	(ソフト事業)事業実績が評価対象外であるため、評価対象外とした。初年度は概ね計画どおりに実施したものの、計画検討を主としており、数値実績には至らなかった。令和5年度は、コンテンツの磨き上げやモニターツアーにより、実際の販売活動に向けたより実践的な検討が期待される。
関東	静岡県	藤枝市	藤枝地域活性化推進協議会				●	○ □		A	(ソフト事業)計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも90%以上であり、計画に基づく取組が実施され、実施体制も計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はA評価とした。専門家の知識を活用しながら、運営体制、体験、食事、ツアー、PR、販売等について、地域全体で多角的な取組を実施していることは、高く評価できる。令和5年度は、モニターツアー等により体験プログラムや宿泊プランのブラッシュアップを図ることにより、実際の販売活動に向け、更なる集客力の向上が期待される。
関東	静岡県	牧之原市	牧之原農泊推進協議会				●	○ □		評価対象外	(ソフト事業)事業実績が評価対象外であるため、評価対象外とした。初年度は概ね計画どおりに実施したものの、計画検討を主としており、数値実績には至らなかった。令和5年度は、集客をしっかりと行い、オンライン予約を行うこととしている。コンテンツの磨き上げやモニターツアーにより、実際の販売活動に向けたより実践的な検討が期待される。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

3事業実施主体(※農泊地域高度化促進事業。)

農政局等	都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
関東	千葉県	銚子市	銚子アグリツーリズム推進協議会			●	● ■					C	実施体制は計画どおり整備されており、取組状況もB評価であったが、計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも50%未満であることから、「取組状況、事業実績のいずれかがCの場合は総合的評価をC評価とする」との評価基準に基づきC評価とした。なお、構成員のすべてが「Wi-Fi環境整備」「トイレ洋式化」への対応を完了し、「キャッシュレス環境整備」「多言語対策」についても一部の構成員を除き対応を完了している。また、「外国人をモニターとしたコンテンツ精査」「インフルエンサーを活用したターゲット直結のアプローチ」など計画した事業を実施し、インバウンドの受入体制を整えていることから、今後は、インバウンド需要の回復に合わせて、インバウンドの受入れが促進されることが期待できる。
関東	千葉県	神崎町	北総里山文化推進協議会			●	● ■					C	実施体制は計画どおり整備されており、取組状況もB評価であったが、計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも50%未満であることから、「取組状況、事業実績のいずれかがCの場合は総合的評価をC評価とする」との評価基準に基づきC評価とした。なお、中国人向けツアーや蔵ツアーも開発され、中国人旅行者への情報発信も行っている。今後、中国人旅行者が回復すれば、宿泊者数や売上高の増加が期待できる。
関東	長野県	池田町	池田町農泊推進協議会				● ■					A	計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも50%以上90%未満であるが、計画に基づく取組が実施され、実施体制も計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はA評価とした。本取組により開発された食事メニューは、地元の生産者からのリサーチや試食会等を通じた評価等を踏まえて十分に検討されたものであり、高く評価できる。今後は、開発した食事メニュー、飲食店の多言語化やキャッシュレス化の取組への参加者を広げ、生産者と飲食店等が連携してインバウンドの受入れを行う取組へと発展することが期待できる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
 ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
 重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金交付等要綱(令和3年4月1日付け2農振第3695号農林水産事務次官依命通知)第7の規定に基づき、第三者機関である「関東農政局農山漁村振興交付金評価委員会」を設置し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長：北田紀久雄（東京農業大学非常勤講師）
委 員：川口 良子（合同会社デザイン・アープ 代表社員）
委 員：岩田 雅弘（（株）日本政策金融公庫農林水産事業本部関東甲信越地区総括課長）
委 員：藤沢 直樹（日本大学生物資源科学部環境学科専任講師）

【令和5年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会

- 1 日 時：令和5年7月3日（月） 10：00～12：00
- 2 場 所：さいたま新都心合同庁舎2号館 11階第1会議室
- 3 議事概要
 - ①令和5年度農山漁村振興交付金の評価(案)について
今年度の評価対象となる30の事業実施主体について、評価(案)を提示、質疑応答の結果、いずれも案のとおり了承された。
 - ②令和5年度評価において重点指導対象となった事業実施主体について
今年度の評価において、目標の達成状況が低調である等、重点指導対象となった事業実施主体に対し、目標達成に向けた指導・助言等が得られるよう、評価委員から意見を聴取した。
- 4 主な意見
 - ・売上や宿泊者数等の実績はC評価だが、成果としては一定の成長が窺える。事業実施主体のモチベーションを下げないように指導することが大切。
 - ・施設整備事業は認知・周知までに時間を要するが、コロナ禍を経て、実績が回復していることは一定の評価をしたい。
 - ・過大な目標設定をするのではなく、実施体制に見合った整理をすべき。

第2回評価委員会

- 1 日 時：令和5年8月8日（火） 10：00～12：00
- 2 場 所：さいたま新都心合同庁舎2号館 11階第1会議室
- 3 議事概要
 - ①第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案について
令和4年度に事業を実施した30の事業実施主体のうち、第1回評価委員会で未回答となっていた事業実施主体への質問に対する回答について了承された。
 - ②令和5年度評価において重点指導対象となった事業実施主体について
今年度の事業評価において重点指導対象となった事業実施主体に対する重点指導通知(案)を提示、説明を行い了承を得た。
 - ③令和4年度評価において重点指導対象となった事業実施主体に対する指導結果について
昨年度の事業評価において重点指導対象となった事業実施主体に対する指導結果の報告を行った。
- 4 主な意見
 - ・昨年度に続きC評価となった複数の事業実施主体では、改善状況に進展が見られない等、共通する傾向が見受けられる。